

「第32回 日産 童話と絵本のグランプリ」出版作品寄贈 栃木県立図書館へ 2作品55セット(計110冊)

～日産栃木工場&日産販売会社～

2月2日(木)栃木工場と日産販売会社は、栃木県立図書館に、「第32回日産童話と絵本のグランプリ」出版作品55セット(計110冊)を寄贈しました。

この活動は、日産自動車が“優れた作品・作家を世に輩出すること”“夢や想像力あふれる童話や絵本を子ども達に届けること”を目的に、昭和59年より大阪国際児童文学振興財団と実施しています。

今年の寄贈式には、栃木工場の橋本修工場長と、日産プリンス栃木販売の廣渡和重社長が出席しました。栃木県立図書館の福田英雄館長は、「魅力的な作品を多くの子どもに読んでもらえるようPRします。」と喜んでくださいました。寄贈した童話と絵本は、同図書館を通じ、県内の公立図書館に配布されます。

また栃木工場は、この他にも、近隣の幼稚園、保育園、福祉団体に約60セットの寄贈を予定しています。

● 栃木県立図書館への寄贈の様子（右から、福田館長、橋本工場長、廣渡社長）

